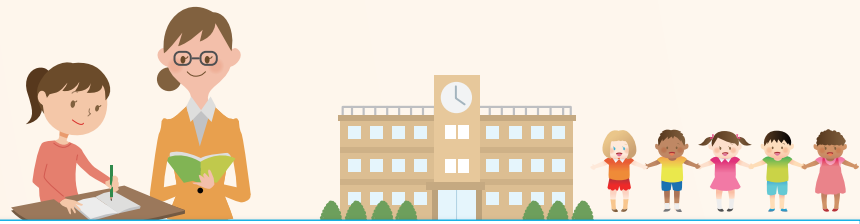


施策の紹介



教師派遣

(1) 現職教師派遣

文部科学省では、日本人学校・補習授業校の教育の充実を図るため、現職の教師を募集・派遣しています。国内の義務教育諸学校の教師を原則2年間(評価に応じて最大2年間の延長が可能)派遣しています。

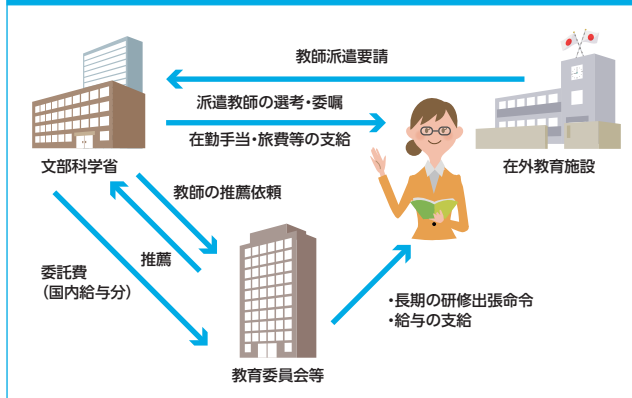
(2) シニア教師派遣

2007年度から在外教育施設の派遣教師経験を持つ退職教師を派遣しています。

(3) プレ教師派遣

2018年度から日本人学校での教育活動を通じて国際性豊かな教師の育成を図るため、将来正規教師を目指す若手教師を派遣しています。

教師派遣の仕組み(公立学校の教師の場合)



環境整備

日本人学校・補習授業校の教育環境の充実を図るため、文部科学省と外務省では、様々な取組を行っています。



(1) 体制支援

安全管理体制構築

治安情勢が懸念される国・地域に安全対策巡回指導班を派遣し、当地の治安情勢や安全対策の実情を把握し、指導・助言等を実施。

校舎借料援助(外務省)

対象校の校舎借用等経費の一部を援助。

校舎耐震化老朽化整備(外務省)

対象校の工事費等経費の一部を援助。

現地採用の教師・講師に対する給与援助(外務省)

対象校の現地採用教師・講師の基本給与の一部を援助。

ガードマン雇用経費等に対する援助(外務省)

対象校の警備謝金や警備機器維持管理費の一部を援助。



教育支援

在外教育施設の教育に精通した教育関係者を補習授業校へ派遣し、補習校特有の課題に対する指導・助言を実施。また、LD・ADHD・自閉症等特別な支援を必要とする児童生徒やいじめ・不登校等専門的な教育相談が必要な児童生徒が在籍する在外教育施設へ専門家を派遣し、教師等へ指導・助言等を実施。さらに、日本人学校が遠隔から特別支援教育に係る相談を受けるための体制を構築。

在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業

在外教育施設の課題解決やグローバル人材育成のための先進的プログラムを開発。

帰国教師ネットワーク構築事業

帰国教師の知識・経験を国内の教育に還元・共有するため、帰国教師間のネットワークを作る。

補習授業校指導資料集の作成

補習授業校で教える教師のため、新学習指導要領やそれに伴い改訂される小学校国語や算数、中学校国語や数学(2021年度予定)の教科書の内容を踏まえた指導計画や指導案等の資料集を作成。



(2) 児童生徒支援

教材整備

公益財団法人海外子女教育振興財団が行う日本人学校・補習授業校への教材整備(2020年度から図書を充実)に対して、文部科学省が経費を補助。

教科書

海外で生活する義務教育段階の子供を対象に原則として、国内で最も多く採択されている教科書を無償で配付。

高校無償化

日本国内と同様に、在外教育施設(全日制)の高等部の生徒に対して、所得に応じて「高等学校等就学支援金」を支給。



ハンブルグ日本人学校(ドイツ) 小学部5年 総合的な学習の時間でプログラミングの学習の様子



アブダビ日本人学校(UAE) コロナ禍に対応して自宅からでも教室授業が受けられる学校での電子黒板を使った授業の様子。

日本人学校教育環境整備事業(令和2年度第二次補正予算)

新型コロナウイルス感染症の世界的な影響により在外教育施設に生じた様々な課題に対応し、児童生徒の学びの保障を図り、非常時でも途切れない教育体制を確立するために、公益財団法人海外子女教育振興財団が行うPC端末の整備、ICT支援員の配置及びPC端末を活用したコロナ禍における教育体制構築に関する実証事業の費用を補助。

トビタテ!

トビタテ! 教師プロジェクト

—在外教育施設を活用した戦略的なグローバル教師の育成—

教師プロジェクト

派遣前

- 〔現状・課題〕
 - 教育委員会からの推薦数減(教育委員会としての推薦メリットが少ない)
 - 平成19年度から退職教師を派遣する「シニア派遣」を創設(令和3年度は341名/1,333名)
 - 平成29年度応募から「姉妹都市交流枠」を創設

戦略的な人材確保・人事配置

- 小学校教師の英語力強化を目的とした優先配置(補習校と日本人学校への若手教師併任派遣)
- 外国人児童生徒等の増への対応強化を目的とした優先配置(ポルトガル、中国、フィリピン等)
- オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして交流を図っている国や地域への優先配置
- 特色ある在外教育施設への配置を自治体等が希望できる公募制度の創設
- 国内講師や現地学校採用教師などの教師予備軍を派遣する「プレ派遣」の創設
- 教育実習先として日本人学校への受入れを可能とする制度の創設

派遣中

- 〔現状・課題〕
 - 派遣中の教師評価の改善(平成29年度から評価指標の細分化(3→5段階評価)等の様式改訂)
 - 平成29年度から特色あるプログラムを開発する「高度グローバル人材育成拠点事業」開始

戦略的なグローバル教育活動

- 評価制度の改善により、帰国後の評価にも活用されるよう一層の周知
- 「高度グローバル人材育成拠点事業」の積極的発信

派遣後

- 〔現状・課題〕
 - 帰国教師を面接選考試験官や研修講師、巡回指導員等として活用
 - 都道府県毎に企画される帰国教師報告会や国際理解教育研修などの講師として活躍
 - 帰国後の人事配置や評価への活用不十分

戦略的な帰国教師の活用促進

- 帰国教師を対象としたレセプションを開催(2017/8/25)
- 本プロジェクトの広報・普及を目的とした文部科学大臣からのアンバサダー委嘱(室伏広治氏、高嶋ちさ子氏、油井亀美也宇宙飛行士)
- 帰国教師を積極的に活用するためのネットワーク構築
- 文部科学大臣優秀教職員表彰において、在外教育施設での派遣経験を考慮して選考
- グローバル教師やキャリアパスに焦点を当てた「トビタテ!グローバル教師フォーラム」を開催(2018/8/20)
- 派遣教師の経験を国内で活用するための課題について考える「第2回トビタテ!グローバル教師フォーラム」を開催(2019/8/5)

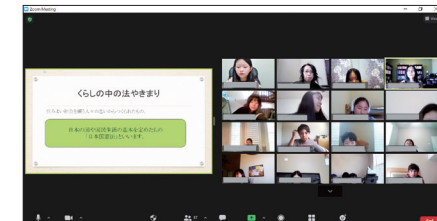
高度グローバル人材育成拠点事業(AG5)の各テーマ



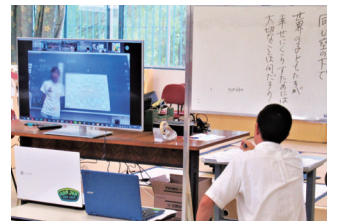
パリ日本人学校(フランス) ①. 5,6年生の総合の時間における他学年との遠隔交流の様子



青島日本人学校(中国) ②. 「多文化共生の学校作りの実践」

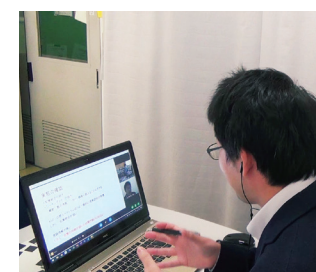


③. グラス補習授業校(米国)を中核とした米国9校の補習授業校



リオデジャネイロ日本人学校・サンパウロ日本人学校(ブラジル) ⑥. 遠隔合同授業の様子

- 日本人学校における高度グローバル人材の基礎的資質形成とそれのための教員研修のプログラム開発
- 日本人学校におけるバイリンガル・バイカルチュラル人材育成とそれのための教員研修のプログラム開発
- 補習授業校におけるバイリンガル・バイカルチュラル人材育成とそれのための教員研修のプログラム開発
- 南米日系人及び現地コミュニティにおける日本語教育・日本型教育・日本文化の発信・普及
- 学校図書館を活用した日本文化等の発信
- ICTを活用した遠隔での教育の質向上
- 日本人学校における特別支援教育に関する遠隔指導



⑦. 筑波大学附属大塚特別支援学校(日本)による日本人学校への遠隔指導の様子



AG5の専用HP <https://ag-5.jp/post>

在外教育施設における教育実習を可能とする制度改正について

2019年4月から教育実習先について、在外教育施設(日本人学校及び私立在外教育施設)においても可能になりました。

2020年度実績 受入校 香港日本人学校香港校 新型コロナウイルスの影響もありましたが、2020年7月に香港日本人学校香港校において佛教大学の社会人学生1名の教育実習が15日間行われました。

参加者の声

今後は正規の教員となることを目指したい。

新型コロナウイルス感染症の影響で対面授業からオンラインでの授業となったが、教育実習を通して日本の子供たちの自立心の高さなどを再確認することができた。

日本全国から集まる教師が作成する各地域の特色を生かした教材など、今後の教材を作る上で非常に参考になった。

